

「樹木識別ポイント」講習会・九州会場 開催報告

6月13日（土）、本協会・公益事業である「樹木識別のポイント講習会」を福岡県・西日本短大で実施しました。

「樹木識別のポイント講習会」では、協会員及び青年部や従業員を含め約40名他、造園業者や一般を含め77名の参加者を3クラスに分け、川原田邦彦氏、吉澤信行氏、山崎隆雄氏の3名の講師で、九州の樹木も入れて100種に近い樹木を3時間みっちりご教授いただき、参加者は一生懸命メモを取りながら充実した講習会でした。参加者からは、またこんな講習会を企画してもらいたいとの意見がありました。中にはもっと造園で使用する樹木を紹介して貰うと助かるとの意見もありました。

講師の皆様、本当に有難うございました。7月11日の樹木識別検定試験に多くの合格者が出るようお祈り申し上げます。



77名の参加者でいっぱいになった教室



講師が説明する見分け方のポイントやその樹木に関する話を熱心にメモにする受講者



講習会后、場所を変え会員同士の意見交換会をブロックの夏季研修会として久留米で実施しました。講習会に出られなかった会員も含め40名で意見交換会と懇親会を行い、次期福岡で行う全国総会、景気や流通の話などで交流を深め、夜の久留米の街へと流れていきました。

九州ブロック長 二村沢行
(大分植木(株)・大分県)